

【150年の歴史と伝統】 「ありがとう古城小！」 「古城小最高！！」

I 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

(1) 目指す児童像

自ら学ぶ子〈やる気〉

心豊かな子〈笑顔〉

たくましい子〈根気〉

自ら考え、
共に学び合える子

思いやりの心と
ふるさとを愛する心
を持ち、自他の命を
大切にする子

健康に気を付け、
めあてに向かって
粘り強く挑戦する子

低	進んで学習する子	きまりを守り、 友達と仲良くする子	よく遊び、めあてを もってがんばる子
中	課題を持ち、 進んで学習する子	思いやりの心を持ち、 助け合う子	よく運動し、めあてに 向かって挑戦する子
高	自ら考え、 共に学び合える子	思いやりの心とふるさとを 愛する心を持ち、自他の命 を大切にする子	健康に気を付け、めあてに 向かって粘り強く挑戦 する子

(2) 目指す学校像

- ① 安全・安心で、地域とともに歩み、信頼される学校
- ② 児童と教職員がやりがいを感じ、清潔で活気のある学校
- ③ 児童と教職員の笑顔と笑い声があふれる学校

(3) 目指す教職員像

- ① 児童、保護者、地域から信頼される教職員
- ② 児童に寄り添い、一人一人の心と可能性を見つめ支える教職員
- ③ 職に対する使命感を持ち、自己研鑽に励む教職員
- ④ 働き方改革を意識し、校務を推進する教職員

(2) 『思いやりのある豊かな心』を育む

① 「道徳科」授業の充実

- 道徳ノートや学習シートの活用と適切な評価（校内研修）
- 保護者参観での道徳授業展開（学校公開による家庭・地域との連携）

② 社会貢献を意図した体験活動の実施（特別活動の充実）

- 花いっぱい活動（学校・地域・こども110番の家 など）
- 小さな親切運動（あいさつ運動）

③ いじめ防止対策の充実（生徒指導の充実）

- いじめ防止（生活）アンケートの実施・教育相談の充実と**早期対応**
・**毎朝、登校後に、児童による「毎日の記録」回答及び職員の確認**
- 相談ポスト、相談窓口の周知・活用
- 児童の情報の共有化（打合せ・職員会議・校務用PC・掲示板活用）
※個人情報漏洩、プライバシー侵害等に十分注意する。
- SOSの出し方教育と情報モラル教育の充実と強化**
- 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり**
※**「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」**

④ 縦割り活動の充実

- ・「登下校班」「水泳学習・なわとび練習交流」「縦割清掃」など

⑤ 福祉教育の推進

- 総合的な学習の時間等を活用した福祉教育の授業実践（障害者理解、高齢者理解、異文化理解など）

(3) 『健やかな体』を育む

① 体力向上委員会を中心とした体育活動の充実

- 体力テスト結果の分析・考察をもとに、体育授業の改善（体力向上計画）
「**柔軟性」「投力」「走力**」の強化に向けた取組の継続
- 外遊びの奨励**や特別授業の実施
 - ・休み時間を活用した外遊びの充実
 - ・なわとび学習（なわとび名人を招聘）
 - ・遊・友スポーツランキングちばの活用
- 業間活動での体育的活動の充実（マラソン練習・なわとび練習など）
- 運動に親しめる場づくりの工夫**（グラウンドの安全な使用区分けなど）

② 学校保健・学校安全に関する学習活動の充実

- 心肺蘇生法・AED教室 喫煙防止・薬物乱用防止教室の開催
- 防災教育 認知症サポート講座の実施
- 良い歯で賞の授与 **スマホ・ゲーム実態調査**の実施

③ 食育の推進

- 栄養教諭による**食育指導**（学級活動・家庭科・給食指導）
- 給食指導の充実 栽培体験学習 食育関連授業（おなか元気教室）

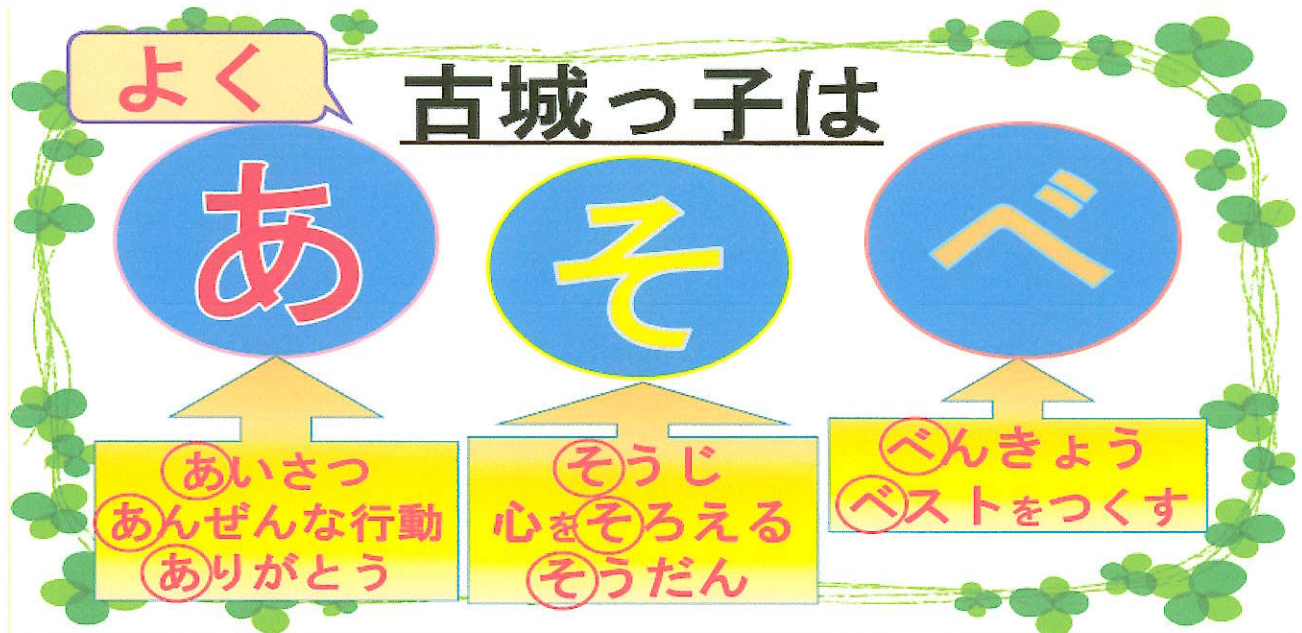
(6) 『安全・安心な学校づくり』を進める

- ① 事故防止のための施設・設備の管理、営繕の徹底
 - 複数の職員による日常的な点検、報告、修繕
 - 環境美化
 - 危機管理マニュアルの随時見直し
- ② 安全教育の徹底と危機管理体制の構築
 - 学校安全の日（登校指導・ワンポイント避難訓練・安全点検）
 - 危険を予測し自らを守る防災教育の充実（地震・大雨・土砂災害 等）
 - 防犯、交通安全教室、消火訓練（不審者・登下校・避難訓練の工夫 等）
 - 子ども110番の家の確認（児童、教職員）
 - 情報モラル教室
 - 心肺蘇生法・AED教室
- ③ 感染症対策等を考慮した適切な教育環境づくり
 - 感染症に関する最新情報の把握と迅速な対応
- ④ 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
 - 個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた特別支援教育の充実
 - 外部講師を招いての特別支援教育研修
 - 共生社会の実現を目指した合理的配慮の適切な提供
- ⑤ 家庭・地域及び各種関係機関との連携・推進
 - 信頼される学校づくりに向けた家庭・地域との連携（情報の発信と共有）
 - 特別支援アドバイザーの活用
 - SC・SSW・児童相談所との協力体制強化
 - 医療機関との連携（担当医、担任、保護者等）
- ⑥ 職員のモラルを高め、よりよい働き方を目指す
 - ICTを利用した出退勤記録の実施
 - ・自身の働き方を振り返るとともに、時間外勤務への意識の変容（「**ハッピーデー；定時退勤日**」の設定と実行）
 - 計画的な業務遂行の取組
 - ・先を見通した取組と業務改善、業務削減の視点
 - 校務分掌の見直しと効率化
 - ワーク・ライフ・バランスと働き方に対する自己意識**を高める（研修）
- ⑦ 学校全体のウェルビーイングの向上
 - 職員の**ウェルビーイングを向上させ**、子ども・家庭・地域社会へと循環する意識の高揚
 - 職場の心理的安全性**の保持（話しやすさ・助け合い・挑戦・新奇歓迎）
 - 保護者や地域との信頼関係を高める
- ⑧ 継続的・計画的なモラルアップ研修と**不祥事根絶**研修の実施
 - モラルアップ研修等を通じた働きやすい職場環境づくりの推進
 - タイムリーな内容等を活用した**不祥事根絶**研修の実施



【★Ⅱ】「古城っ子はよくあそべ」プラン

目指す児童像の実現に迫る一つの方策として、全学年共通のめあてを「古城っ子はよくあそべ」と位置づけ、教育活動全体の中で実践を行う。



- 例：○「おはよう」「さようなら」のあいさつができる。
- 交通安全に気を付け、あんぜんに登下校できる。
- 「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることができる。
- そうじや整理整頓をすることができる。
- 靴箱の外履きや上履きをそろえることができる。
- 時間をそろえる（守る）ことができる。
- 困った時には、先生や友達にそうだんすることができる。
- 積極的にべんきょう（学習）することができる。
- めあてを達成するためにベストをつくして（全力で）取り組むことができる。